

トップコミットメント



私たちは社是「互譲協調」の精神に基づき、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

社是、企業理念の追求

当社は1954年の創業以来、自動車シート一貫メーカー（開発～生産まで）として歩みを続け、現在は9カ国、53拠点で多くのお客様に商品、サービスを提供しております。

当社の事業活動の底流には、社是とする『互譲協調』の精神があります。『互譲協調』とは、「人と人との和」を大切にし、思いやり・助け合いの精神の下、何事にも使命感と自責心をもって臨み、組織の相乗作用により高い目的・目標を達成することで、社会や社業に貢献する姿勢を意味する、当社創業以来脈々と受け継がれている基本的な価値観です。『“座る”を追求し人と地球を支える』というパーパスの下、“座る”を一貫して追求した自動車シートの開発・製造を通じ、蓄えてきた技術・モノづくり力を活かし、当社グループビジョンである「人と社会と共生し、快適で豊かな生活空間を創造し続けることで人々を笑顔にする」の実現にむけ活動しております。

マテリアリティへの取り組みと2030ビジョンの実現に向けて

2025年5月に発表した2025年度～2027年度の中期経営計画 TVE（Transformative Value Evolution）Wave2 2027の策定においては、事業環境やリスク・機会の分析を行い、ステークホルダーの視点から改めて重要課題を抽出し、当社事業活動と重要課題の繋がりを捉え直し、3つのマテリアリティを特定すると共に2030年ビジョンを策定しました。

<2030年ビジョン>

社是『互譲協調』に沿い、イノベーションにより提供価値を変革し競争力・収益力を高めると同時に社会課題への対応を通じサステナブル社会の実現に貢献する。

＜マテリアリティ＞

（１）イノベーションと事業を通じた社会課題への対応（価値の提供）

お客様の期待を超える提案力や事業競争力、収益力を備え、ステークホルダーから選ばれ続ける企業になると思います。

（２）サステナブル社会の実現への貢献と信頼に基づき選ばれ続ける企業になるための真摯な事業運営

これまでと変わらない真摯な事業運営と安定した経営基盤を通じ、持続可能な社会づくりに貢献していく、というステークホルダーへの約束を示すものです。

（３）価値創造に向け自律的に行動できる人財と風土の醸成

TVEの狙いである「自己変革による価値の増進」に資するもので、タチエス版「人的資本経営の推進」のベースになるものです。私はTVE Wave2 2027の目標の実現の原動力は、内部に存在すると信じています。共創を通じ社員一人ひとりが自律的に行動し、個人と会社の成長が図れる人財と風土を醸成していきます。

マテリアリティの進捗状況は、非財務KPIを通じ共有してまいります。

私たちは新中期経営計画 TVE Wave2 2027で規定した、現有事業での持続的な価値向上と共に2030年に向けた成長戦略の推進を通じ、企業価値向上を図ってまいります。同時に2030年ビジョンと3つのマテリアリティを活動の基盤に置き、社会的価値と経済的価値の創出を両立する事業活動を推進してまいります。

2030 ビジョン **社是“互譲協調”に沿い、イノベーションにより提供価値を変革し競争力・収益力を高めると同時に社会課題への対応を通じサステナブル社会の実現に貢献する**

コーポレートビジョン
パーパス

人と社会と共生し、快適で豊かな生活空間を創造し続けることで人々を笑顔にする
「座を追求し人と地球を支える」

マテリアリティ

イノベーションと事業を通じた社会課題への対応（価値の提供）



サステナブル社会の実現への貢献と信頼に基づき選ばれ続ける企業になるための真摯な事業運営



価値創造に向け自律的に行動できる人財と風土の醸成



財務KPI、非財務KPI (Appendix)

2030年に
目指す姿

- ステークホルダーから選ばれ続ける企業
 - 持続可能な社会づくりに貢献する企業
 - 「互譲協調」の下、共創を通じ社員一人ひとりの成長と会社の成長を実現する
- ・ お客様の期待を超える提案力
 - ・ 真摯な事業運営
 - ・ 自律的に行動できる人財の育成力
- ・ 事業競争力、収益力
 - ・ 安定した経営基盤
 - ・ ダイバーシティ&インクルージョンを活かせる組織力

[マテリアリティHPへのリンク](#)

2025年5月
株式会社タチエス
代表取締役社長 山本 雄一郎